

令和6(2024)年12月

士別市長 渡辺英次

「市長へのメール」の回答について

拝啓

師走の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長へのメール」で、学校給食のフードロスに関する貴重なご意見をいただきました。

本市では、食べ残しを最小限におさえるために、給食アンケート調査を行い献立に工夫をし、栄養バランスの良い安全安心な給食を提供するように努めています。しかし、食べられる量に個人差があることや、その日の体調等により給食を残してしまうことなどもあり、食べ残しをゼロにすることは難しいとも考えております。

ご意見がありましたパンなどの持ち帰りについてですが、学校給食の衛生管理は「学校給食衛生管理基準」で定められており、衛生管理を徹底することが困難なことから、給食の持ち帰りは禁止されています。

また、給食時間の調整については、教室での準備・配膳・片付けの作業を効率化し速やかに行うことは、食べる時間を少しでも多く確保するために大変有効ですので、ぜひ各学校や学級でできることがないか相談してみてください。決められた時間内に食べることは大切ではありますが、給食時間内に食べることが難しい場合には、状況に応じて食べ終える時間を調整していただけるよう、学校にも伝えます。

なお、給食の食べ残しや調理の際に発生した野菜の皮などは、市内にあるバイオマス資源堆肥化施設で堆肥として再利用されており、「キッチンリボン」として家庭向けにも販売されています。

フードロスを削減するためには、私たち一人ひとりが食べものへの感謝の気持ちを大切に行動することが重要です。本市では、児童生徒の食への関心を高めるため、地元産の食材を活用した「ふるさと給食」の実施のほか、宴会での食べ残しを減らす「残さず食べよう349(サフォーク)運動」を推進しています。

これからも児童生徒の食に関する意識の醸成を図り、フードロスを減らすための取り組みを模索し検討してまいります。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長へのメール」の回答といたします。

敬 具

・担当課

士別市教育委員会生涯学習部学校給食センター
士別市大通北9丁目80-37 電話23-4195（直通）

・広聴担当課

市民部くらし安全課
士別市東6条4丁目 電話26-7736（直通）